県・他市町村提出

**記載方法の見方**

**の枠内が新たな申請書（記入欄）**

認定申請日を記載してください。

**※記入はすべて，エンピツではなく，黒のボールペン又は黒のペンで記入してください。**

# 農 業 経 営 改 善 計 画 認 定 申 請 書

令和　　年　　月　　日

| | |
|---|---|
| | 福岡市長　殿 |
| ○ | 福岡県知事　殿 |
| | 九州農政局長　殿 |
| | 農林水産大臣　殿 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 申請者 | 住　　所 | 福岡市中央区天神1丁目8－1 | 連絡先 | 電　話　092（123）1234<br>携帯電話　090-1234-5678 |
| | フリガナ | フクオカ　タロウ | フリガナ | |
| | 個人・法人名 | 夫婦・親子等が共同申請する場合、下記参照<br>福岡　太郎 | 代表者氏名（法人のみ） | 法人代表者名を記入 |
| | 生年月日<br>法人設立年月日 | 昭和<br>平成・令和　40　年　12　月　3　日 | 法人番号 | |

申請先の市・県等行政庁の欄に○を記入してください

※夫婦、親子等が共同で申請する場合について

夫婦、親子等が共同で申請する場合には、申請者欄の「個人・法人名」欄に全員の氏名、フリガナ、生年月日を連記してください

法人のみ記載してください。

該当する営農類型１つにチェックをしてください

①「単一経営」とは、販売金額１位の作目の販売金額が、農産物総販売額の８０％以上を占める経営をいいます。
　例えば　・稲作が80％以上の場合、「稲作」にチェックをしてください。
　　・施設野菜（苺、トマト、春菊等）が80％以上の場合、「施設野菜」にチェックしてください。
②「複合経営」とは、販売金額１位の作目の販売金額が、農産物総販売額の８０％に満たない経営をいいます。
　例えば　・露地野菜60％、稲作40％の場合、「複合経営」にチェックしてください。
③「工芸農産物」とは、たばこ、茶、ラベンダー、薬用作物などの作物をいいます。
④「その他の作物」には、芝、種苗、栽培きのこ類（施設栽培を含む）、牧草等の販売を含みます。
⑤「その他の畜産」には、ミツバチの飼養等の販売を含みます。

農業経営基盤強化促進法（昭和５５年法律第６５号）第１２条第１項の規定に基づき，次の農業経営改善計画の認定を申請します。

## 農　業　経　営　改　善　計　画

① 農業経営体の営農活動の現状及び目標

（１）営農類型

| 現　　状 | 目　標（　　年） |
|---|---|
| □稲作　□雑穀・いも類・豆類　□工芸農作物　□露地野菜<br>☑複合経営<br>□施設野菜　□果樹類　□花き・花木　□その他の作物（　　）<br>□酪農　□肉用牛　□養豚　□養鶏　□その他の畜産（　　） | □稲作　□雑穀・いも類・豆類　□工芸農作物　□露地野菜<br>☑複合経営<br>□施設野菜　□果樹類　□花き・花木　□その他の作物（　　）<br>□酪農　□肉用牛　□養豚　□養鶏　□その他の畜産（　　） |

（２）農業経営の現状及びその改善に関する目標

| | 現　状 | 目標（　　年） | | 現　状 | 目標（　　年） | 主たる従事者の人数 | 1 人 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年間所得 | 508 万円 | 600 万円 | 年間労働時間 | 6,100 時間 | 6,000 | | |
| 主たる従事者１人当たりの年間所得 | 508 万円 | 600 万円 | 主たる従事者１人当たりの年間労働時間 | 2,200 時間 | 2,000 時間 | | |

・「年間所得」欄は、農畜産物の生産及び農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業に係る年間所得の、現状及び５年後の目標を記載してください。

・「年間労働時間」欄は、農畜産物の生産及び農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業に係る時間の、現状及び５年後の目標を記載してください。

・主たる従事者の人数を記載してください。

## ②　農業経営の規模拡大に関する現状及び目標

### （１）生産

| 作目・部門名（耕種） | 現　状 作付面積(a) | 現　状 生産量(kg，本) | 目標（　年） 作付面積(a) | 目標（　年） 生産量(kg，本) |
|---|---|---|---|---|
| 具体的な作物名を記載 | 作付面積、生産量、販売額の現状を記載 | | 作付面積、生産量、販売額の目標を記載 | |
| しゅんぎく（施設） | 150 | 18,000 | 200 | 24,000 |
| | （３０ａ×５回） | | （４０ａ×５回） | |
| キャベツ（露地） | 100 | 50,000 | 100 | 50,000 |
| | | | | |
| 露地野菜（露地） | 10 | 900 | 10 | 900 |
| （ﾅｽ、ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ、ﾘｰﾌﾚﾀｽ他） | | | | |
| 水　稲 | 100 | 4,000 | 150 | 6,000 |
| 特定作業受託 | 50 | 2,000 | 50 | 2,000 |
| | | | | |
| | | | | |
| 合　計 | 410 | | 510 | |

| 作目・部門名（畜産） | 現　状 飼養頭数(頭，羽) | 現　状 生産量(kg，頭，羽) | 目標（　年） 飼養頭数(頭，羽) | 目標（　年） 生産量(kg，頭，羽) |
|---|---|---|---|---|
| 具体的な畜産名を記載 | 飼養頭数、生産量、販売額の現状を記載 | | 飼養頭数、生産量、販売額の目標を記載 | |
| 経産牛 | 35 | 280,000 | 45 | 450,000 |
| | | | | |
| 育成牛 | 18 | | 20 | |
| | | | | |
| 仔　牛 | 15 | 5 | 20 | 10 |
| | | | | |
| 飼料作物 | 4ha | | 5ha | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合　計 | | | | |

・現状の作付作物、５年後の作付作物を詳しく記載してください
【例示】・水稲、裸麦、苺（施設）、トマト（施設）、春菊（施設：４回転）、大根、キャベツ、トマト（露地）、ナス（露地）等
・現状の作付面積と目標とする５年後の作付面積
例　作付面積の単位はａ（ｱｰﾙ）で記入してください
１００坪→３．３ａ　　３００坪→１０ａ
１００㎡→１ａ　　1,０００㎡→１０ａ
１反　→10ａ　　１町　→１００ａ
・現状の生産量と目標とする５年後の生産量

・現状の飼養畜産名、５年後の飼養畜産名を詳しく記載してください
【例示】・乳牛、育成牛、肉用牛、採卵鶏、ブロイラー、豚　等
・現状の飼養頭羽数と目標とする５年後の飼養頭羽数
・現状の生産量と目標とする５年後の生産量

### （２）農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業（売上げ）

| 事業内容 | 現　状（万円） | 目標（　年）（万円） |
|---|---|---|
| 農業経営に関連・附帯する事業として、農畜産物を原料・材料として行う製造、加工や農業体験事業等について記載 | | |
| 苺加工品（ジャム、ジュース等） | 50 | 100 |
| 観光農園・貸農園・体験農園等 | 100 | 150 |
| 水稲作業受託（田植え、収穫作業等） | 50 | 100 |
| 小売業（野菜等直売所） | 200 | 250 |

農業経営に関連・附帯する事業として
・農畜産物を材料として使用して行う製造又は加工
・農畜産物の貯蔵、運搬又は販売
・作業受託（特定作業受託は含みません）
・農泊、農業体験事業
の現状売上及び目標売上を記載してください。
【例示】
・農畜産物の加工（ジャム、ジュース等）、小売業（直売所）、観光農園、貸農園、体験農園、農家レストラン、作業受託（耕起、田植え、収穫、乾燥等）

**農業経営上重要と考えられる農用地を記載する。**
**福岡市と他の市町村の農地を記載する場合は，県知事への申請となります。**
・所有地等の所在する県（福岡県等）、市町村（福岡市西区等）を記載
・地目は、現況の地目（田・畑・果樹園等）を記載
・農用地の、現状の面積及び目標の面積を記載（単位はａ）

**農業経営上重要と考えられる施設を記載する。福岡市と他の市町村の施設を記載する場合は，県知事への申請となります。**
・温室、畜舎その他これらに類する農畜産物の生産の用に供する施設を記載
・農業生産施設の所在する都道府県、市町村名を記載
・生産施設の現状の規模及び目標の規模を記載（単位は㎡）

### （３）　農用地及び農業生産施設　※福岡市と他の市町村に農用地・農業生産施設を有する場合は，県知事へ申請

ア　農用地

| 区　分 | 所在地 都道府県名 | 所在地 市町村名 | 地目 | 現　状（ａ） | 目標（　年）（ａ） |
|---|---|---|---|---|---|
| 所有地 | 福岡県 | 福岡市西区 | 田 | 200 | 250 |
| | 〃 | 〃 | 畑 | 50 | 50 |
| | 〃 | 糸島市 | 田 | 100 | 150 |
| | | | | | |
| 借入地 | 福岡県 | 福岡市西区 | 田 | 50 | 100 |
| | 〃 | 糸島市 | 田 | 0 | 100 |
| その他 | | | | | |
| | | | | | |
| 経営面積合計 | | | | 400 | 650 |

イ　農業生産施設

| 種　別 | 所在地 都道府県名 | 所在地 市町村名 | 規　模 現　状 棟 | 規　模 現　状 ㎡ | 規　模 目標（　年） 棟 | 規　模 目標（　年） ㎡ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 畜産、温室その他これらに類する農畜産物の生産の用に供する施設を記載する | | | | | | |
| 鉄骨ハウス | 福岡県 | 福岡市西区 | 6 | 3,000 | 7 | 3,600 |
| 〃 | 〃 | 糸島市 | 2 | 1,000 | 2 | 1,000 |
| パイプハウス | 〃 | 福岡市西区 | 10 | 2,500 | 15 | 3,500 |
| 〃 | 〃 | 糸島市 | 0 | 0 | 2 | 1,000 |
| 畜舎 | 〃 | 福岡市西区 | 2 | 1,800 | 3 | 2,700 |
| 〃 | 〃 | 糸島市 | 1 | 1,000 | 1 | 1,000 |
| | | | | | | |
| 経営面積合計 | | | | 9,300 | | 12,800 |

・特定作業受託（作物別に、主な基幹作業（水稲では耕起・代かき、田植え及び収穫・脱穀、その他の作目ではこれらに準ずる農作業を受託することをいう。）を受託する農地（申請者が当該農地に係る収穫物の①販売名義を有し、かつ、②販売収入の処分権を有するもの。））の面積を記載

農用地の利用条件（ほ場の区画の大きさ、団地化）、作目・部門別合理化の方向その他の生産方式の合理化について、例示を参考に現状、目標及びその掲げた目標を達成するための具体的な方策を記載

【作目・部門別合理化の方向の例示】

○農地の集積・集約化　○農業生産工程管理（ＧＡＰ）の導入
○生産の効率化・高度化スマート４農業の推進
○栽培・飼養に係る新技術の導入　○有機農業の推進
○省エネ技術を利用した生産管理の推進
○自給飼料の生産・利用の拡大
○持続性の高い農業生産方式　○その他合理化の方向

簿記記帳等の会計処理、経営内役割分担、経営の法人化等について、例示を参考に現状、目標及びその掲げた目標を達成するための具体的な方策を記載

【経営管理の合理化の方向の例示】

○簿記記帳等の会計処理　○経営内役割分担
○経営の法人化　○高付加価値化・ブランド化
○新たな販路拡大や新製品の創造　○マーケティング力の強化
○顧客に対する情報発信　○農業生産工程管理（ＧＡＰ）の導入
○その他合理化に向けた取組

③　生産方式の合理化に関する現状と目標・措置

現在の栽培上の課題と対策や生産の無駄を省く方法等を記載する

・施設野菜が連作障害で収量が不安定、良質の有機肥料による地力増進で安定した収量の確保を図る
・現在一部栽培している赤トンボの割合を、５０％に拡大するとともに直販・宅配を実施する。
・乳産量に個体差があり乳量も少ない、牛個体毎の状況を把握し産乳量の均一化とともに乳量増を図る
・補助事業を活用し、ハウス（畜舎）を増設する
・農地の集積・集約化を進める

④　経営管理の合理化に関する現状と目標・措置

簿記記帳、経営内役割分担の課題と対策やコスト管理の強化方法等を記載する

・単式簿記で経営状況の把握が不十分、複式簿記を導入し経営分析を実施
・ＪＡ記帳代行を活用し、青色申告を行う
・パソコン導入による経営管理の簡素化及び合理化の実施
・複式簿記記帳の実施により、経営と家計の分離を行う

⑤　農業従事の態様等の改善に関する現状と目標・措置

労働時間少なくし、農休日を導入するための課題と対策や目標を記載する

・父母の高齢化で労働力が低下、雇用を活用し労働時間の縮減を図る
・収穫・出荷期などの農繁期における臨時雇用の確保
・作業環境の改善による農作業の快適化
・大型機械導入や機械化などによる省力化
・作業状況により休んでいるが、今後休日制を導入する
・家族経営協定に基づく家族間の役割分担を明確にする

⑥　その他の農業経営の改善に関する現状と目標・措置

経営規模の拡大方法や経営の改善に関する課題や対策等を記載する

・農業委員会への申出・斡旋を利用し、農地の取得・借地する
・老齢化した農家の農地を借地する
・臨時雇用者の技術向上を促し、栽培管理の徹底を図る
・漬物等加工製品の充実と拡大に努めるとともに直販経路を拡大する

人材確保に向けた就業規則等の整備、相続・経営継承に関する取組等について、例示を参考に現状、目標及びその掲げた目標を達成するための具体的な方策を記載

【農業従事の態様等の改善に関する目標の例示】

○人材確保に向けた就業規則等の整備
○相続・経営継承に関する取組
○多様な人材の育成・定着に向けた取組
○家族間の役割分担等（家族経営協定を締結している場合で、①協定を締結していること②協定での家族間の役割分担等の内容を記載）
○その他改善に向けた取組

「③生産方式の合理化　④経営管理の合理化及び⑤農業従事の態様の改善」以外の取組等を記載

・農業近代化資金等の制度資金の融資を受けることを予定する場合には、予定年度、予定資金、予定貸付額等を記載

・その他の農業経営の改善に関する、現状、目標及びその掲げた目標を達成するための具体的な方策を記載

家族経営の場合には農業経営に携わる者の氏名を、法人経営の場合には役員の氏名を記載

家族経営の場合には代表者を基準とした続柄、法人経営の場合には役職を、それぞれ記載

主たる従事者である場合には○を記載

・常時雇とは、あらかじめ７か月以上の期間を定めて雇った人のことをいう。
・臨時雇とは、常時雇以外で季節雇などをいう。
・延べ人数は、実人数に雇用日数を乗じた人数
　2人(実人数)×50日(雇用日数)＝100人(延べ人数)

（参考）経営の構成

（１）構成員・役員

| 氏　名（法人経営にあたっては役員の氏名） | 年齢 | 性別 | 代表者との続柄（法人にあっては役職） | 現状 担当業務 | 現状 主たる従事者 | 現状 年間農業従事時間 | 見通し（　年） 担当業務 | 見通し（　年） 主たる従事者 | 見通し（　年） 年間農業従事時間 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福岡　太郎 | 55 | 男 | 代表者 | 経営全般 | ○ | 2,200 | 経営全般 | ○ | 2,000 |
| 福岡　花子 | 50 | 女 | 妻 | 経　理 | | 2,100 | 経　理 | | 2,000 |
| 福岡　二郎 | 25 | 男 | 子 | 栽　培 | | 1,500 | 栽培管理 | | 2,000 |
| 福岡　三郎 | 21 | 男 | 子 | 栽　培 | | 300 | | | 0 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

（２）雇　用　者（年間）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 常時雇 | 実人数 | 現状 | 0 人 | 見通し | 1 人 |
| 臨時雇 | 実人数 | 現状 | 1 人 | 見通し | 2 人 |
| | 延べ人数 | 現状 | 50 人 | 見通し | 100 人 |